

石鳥谷学童クラブの元気な子どもたち

国保税における減免策の拡充

所得減少明確な場合は減免措置

問 国保税について、疾病、事業不振、廃業、失業等所得の減少に対する減免要綱を生活実態に合わせ早急に作成すべきと思ふが見解を伺う。

答（市長）疾病、事業不振、廃業、失業等所得の減少が明らかな場合は、減免措置を講じていく。

照井明子 議員

問 障害者自立支援法実施後の実態把握と市独自の利用者負担軽減策や事業所運営支援への見解を伺う。

答（市長）4月現在の障害福祉サービス利用者は461人で、法施行前の3月より4人増、利用者負担額は208万円減である。障害福祉サービスの市独自の支援策は考えていない。10月からは、地域生活支援事業を実施する。

障害者への支援策

各種計画策定の段階で再検討
家庭の教育力を上げる方策

鎌田政子 議員

学童クラブ事業への支援策

市民と行政との協働を推進

問 市内の各学童クラブの運営状況をどう把握しているか伺う。

答（市長）利用児童数は、平成18年4月現在で662人となっている。市から

柳田誠久 議員

の影響が大きい。家族と子どもをめぐる社会状況は変容している。この変化に対応することが、家庭の教育機能にとって課題である。家庭の教育力を上げるために方策について伺う。

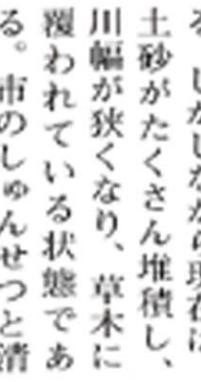
問（教育長）家庭教育的重要性にかんがみ、家庭教育講座の実施、家庭教育の大きさや善惡の判断などの人間の基本的な考え方、生活習慣などは家族の教師は親である。命の大

育手帳や子育て支援リーフレットの配布を行い、家庭教育に関する情報提供に努めている。今後は、現行の施策・事業の見直しを図るとともに、親の方々に理解を深めていた

だく諸施策を現在策定中の総合計画や教育振興基本計画の策定の段階で検討していく。

自然との調和を図りながら整備
星が丘水辺公園の環境整備

伊藤金人 議員



星が丘の水辺公園の環境整備

総合文化財センターの建設

基本構想を検討し早期に着手

問 総合文化財センターの建設については、合併協定の重点課題でもあります、早期実現を切望する。市の見解を伺う。

答（教育長）市として必要な施設であり、できるだけ早期に着手したい。

この総合文化財センターは、大迫地区のみならず、新市の文化財行政の中核を成すセンター機能を備えた施設として考えており、そのために、市全体の文化財行政の体制や機能とともに、総合文化財センターの性格や位置付けなど、基本構想の策定について検討しているところである。



星が丘の水辺公園の環境整備

問 星が丘の水辺公園は、宮澤賢治の作品をモチーフとして設計され、本市の観光スポットとして、市民の散策路・憩い

の場として親しまれている。しかしながら現在は、土砂がたくさん堆積し、川幅が狭くなり、草木に覆われている状態である。市のしんせつと清掃の取り組み予定を伺う。

答（建設部長）良好な景観の確保や適切な管理の観点から、毎年地域と協

力しながら川の清掃を行っている。
しんせつについて
は、環境への配慮が大切であることから、自然環境との調和を図りながら、必要な個所について、地元の意見を伺いながら、早急に実施し、当地域の快適な空間確保に努める。



星が丘水辺公園（星が丘）